

—くくりわなを使用した新しいニホンジカ等の捕獲について—



## 林野庁 経営企画課

### 小林式誘引捕獲法の開発（新たな発想への転換）

従来のかくり罠では、経験が必要

また、捕獲効率が悪い

そのため、餌を使って誘き寄せる方法を検討



獣道にかくり罠を設置し、その両端に餌を置く工夫

→通常のかくり罠より捕獲効率がアップするが、

従来どおり獣道に設置する技術が必要

また、近くにシカが来ても捕獲できないことも多々あり



もっと簡単に捕獲する手法はないか？

→シカの行動を観察





# 小林式誘引捕獲法の開発（シカの行動調査に基づく対策）

餌の食べ方を観察したところ、**食べる際に、口元の横に前足を置く習性**があることが判明。



くくり罠の周りにドーナツ状に餌をまくことで、簡単に捕獲が出来るのではないか？

ただし、くくり罠は踏み板の端を踏まれると、空はじき<sup>※</sup>が発生し、スマートディア<sup>※</sup>となる。

→その後の捕獲が難しくなるため、対策が必要。

また、誘引に適した餌の選定が必要。



獣道を観察したところ、石などの障害物を避けて歩くことが分かり、この習性を利用して、罠の周囲に石を隙間なく並べることで、空はじきを大幅に抑制できることが判明。



（用語解説）

※空はじき：くくり罠は作動するが捕獲できないこと

※スマートディア：警戒心が高く罠にかかりにくくなったシカ

## 小林式誘引捕獲法の開発（餌の選定）

- シカのみ捕獲する際は、ハイキューブが良い（シカが好む餌であり、錯誤捕獲のリスクが非常に少ない）
- イノシシも同時に捕獲する場合は、米ぬか、おからサイレージ等が良い



ハイキューブ◎



ふすま○



ビール搾り粕×



おから○



おからサイレージ◎



麦茶搾り粕×



米ぬか◎



みかん搾り粕○



配合飼料×



# 小林式誘引捕獲法の開発



罠  
餌

空はじき対策として  
罠の周囲に石を置く



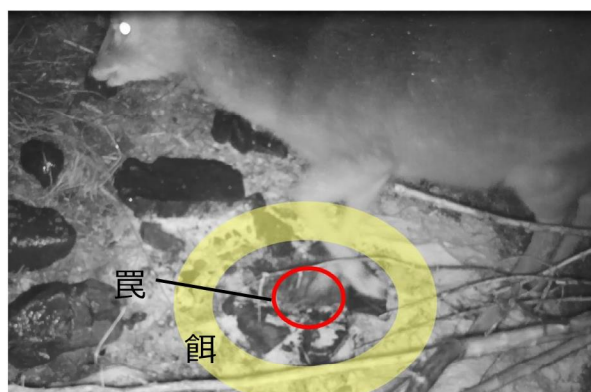
小林式誘引捕獲の完成



罠を土で隠し、石の外周りに  
餌をドーナツ状に置く



捕獲状況



4

## 小林式誘引捕獲法のメリット（罠の設置はどこでもOK！）

- 獣道以外でも良く捕れる。



5



## 小林式誘引捕獲法のメリット（イノシシ等も捕獲可能!）

「米ぬか」や「おからサイレージ」等を利用することで、シカだけでなく**イノシシやアライグマ等の捕獲も可能**



→農地の獣害対策にも寄与できる

6

## 小林式誘引捕獲法のメリット（労力軽減！安全！簡単！コスト減）

- 獣道を見極める必要がないことから、初心者でも簡単。
- 獣道へ設置する場合は、状況次第では1基あたり30分程度必要であったが、小林式誘引捕獲法は、場所を見極める必要がないことから、1基あたり5～6分程度で設置可能。
- 道沿いに設置することで見回りや個体処理が容易。
- 車の中から捕獲状況を確認できるため安全。
- 短期集中で捕獲できることから、見回り等のコスト縮減が可能。



7

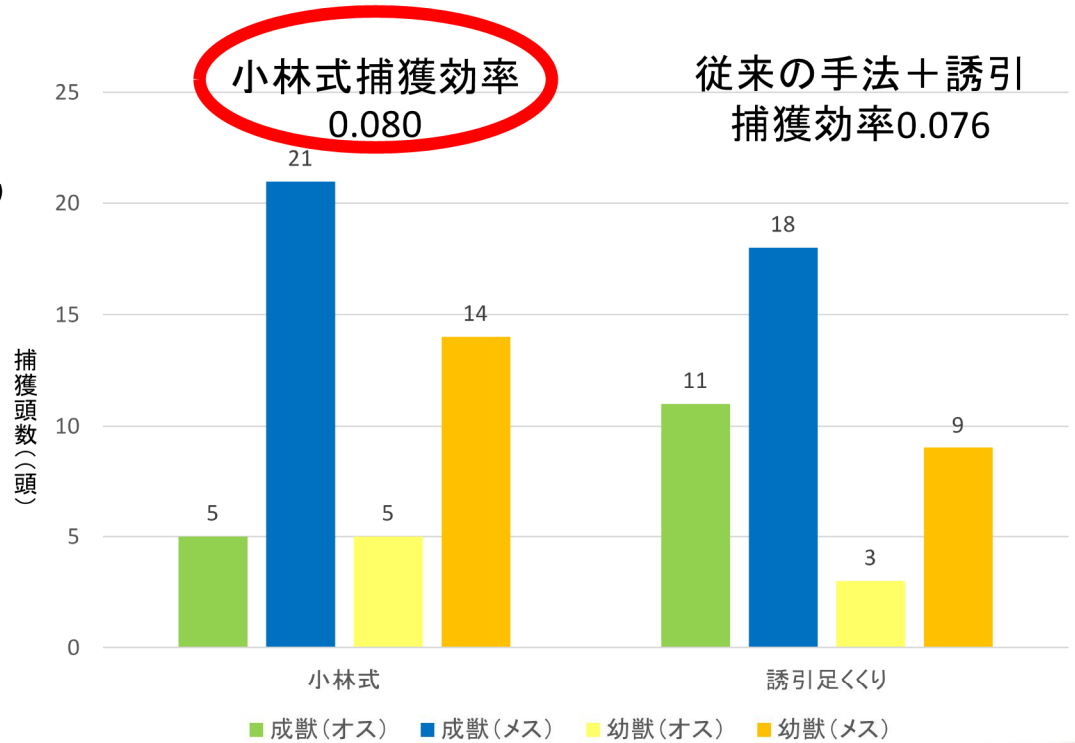
# 小林式誘引捕獲法の展開、普及等

## 兵庫署の事例（委託事業）

小林式誘引捕獲の捕獲効率は、ベテラン猟師が従来の手法（獣道に罠を設置）と餌による誘引を組み合わせて捕獲した場合をわずかながら上回ることを確認。

令和元年度鶏籠山外国有林  
（兵庫署）  
2月12日～3月10日（28日）  
平均39基の罠を設置  
全体で86頭のシカを捕獲  
（全体の捕獲効率0.080）

小林式誘引捕獲により  
28日間で45頭捕獲



# 小林式誘引捕獲法の展開、普及等

## 奈良県の事例

### 3. シカ誘引捕獲法の紹介(くくりわな) —小林式誘引捕獲法—

#### 捕獲効率の比較(事例紹介)

奈良県内で「シカによる森林被害緊急対策事業(林野庁)」を活用し、平成28年度から平成30年度の3年間、野迫川村で実施したシカ捕獲モデル事業の捕獲結果は下表のとおりでした。「小林式誘引捕獲法+わなの移設」によって、捕獲効率が大幅に上昇しました。

年度	捕獲方法	捕獲期間	捕獲頭数	捕獲効率 (頭/基数×日数)	備考
H28	箱わな(檻):2基 くくりわな:22基 (獣道に設置)	45日間 (10月、 12月～1月)	11頭	0.012	クマ人身事故により事業を一時中断し捕獲時期が冬季に。積雪によるわな不動により捕獲数が低迷。
H29	くくりわな:40基 (餌の周囲にわな設置)	46日間 (10月 ～12月)	17頭	0.009	誘引により前半は順調に捕獲が進むが警戒心の高まりに伴い、捕獲数が低迷。
H30	くくりわな:20基 (小林式誘引捕獲法+わなの移設)	30日間 (11月 ～12月)	30頭	0.050	小林式誘引捕獲法と警戒心の高まり対策として実施したわな移設が功を奏し、捕獲頭数が増加。



平成28、29年度事業のわな設置状況  
(箱わな、くくりわな)

平成30年度事業のわな設置状況  
(小林式誘引捕獲法)  
※餌はヘイキューブを使用

- 「地域で取り組む獣害対策」に「小林式誘引捕獲法」を紹介
- 「シカによる森林被害緊急対策事業(林野庁)」では、小林式誘引捕獲に取り組んだ3年目に捕獲効率が約5倍にアップ



# 小林式誘引捕獲法の展開、普及等

初心者でも簡単設置!

くくりわなを使用した新たなシカ誘引捕獲法

## 小林式誘引捕獲法

●小林式誘引捕獲法とは

林野庁職員（小林正典氏）が考案した捕獲方法で「くくりわな」の周囲に石や誘引するための餌をドーナツ状に設置し、前足がわなにかかりやすくなるよう工夫することで、シカに警戒されにくく、初心者でも簡単に効率よく捕獲できる手法です。猟次第でイノシシ等の捕獲も可能になります。



▲設置の様子  
(わなの周囲も石で囲み、さらにドーナツ状に餌をまく)



▲使用する「くくりわな」  
押し（※フイヤーは餌の上にはかませず）  
前後のイメージ▶

●小林式誘引捕獲法のメリット

- ▶ 餌で誘き寄せて捕獲するため、けもの道にわなを設置する必要が無く、特別な技術が不要で捕獲効率も高い
- ▶ 車でアクセスしやすい場所に設置できるため、捕獲後の見回り、止め刺し、運搬が容易。また、車から確認しやすいため、安全性が高い
- ▶ けもの道以外に設置することで、クマやカモシカなどの錯誤捕獲が少ない
- ▶ 短期集中でわなを設置できるのでトータルコストが大幅減

～小林式誘引捕獲法ではこんな場所でもシカが捕獲できます～

<河川敷での捕獲例>  ▲ 護岸にフイヤーを横付け

<林縁田での捕獲例>  ▲ 苗木にフイヤーを横付け

## ●わなの設置方法



① 石はわなの周囲に空いた空間に均等にまき散らす  
② フイヤーを横付けし、餌の板にフイヤーをセット  
③ 餌と餌の上にかみ鉋をセット  
④ 上からの様子  
⑤ フイヤーと餌の板を二で固定  
⑥ 石の隙間に餌を置いて完成

設置のポイント!



- 事前に餌付けし、餌がよく食べられている場所に設置
- 石は地面に埋め込み、深さが約2cmほど飛び出るようにする
- 横から見た設置例
- わなと石の間を狭くする

誘引用の餌

ヘイキューブ・・・シカを選択的に捕獲できる  
米ぬか・・・シカやイノシシを捕獲でき経済的  
被害を受けている農作物・・・加吉吉獣の捕獲に効果的  
シカが食べるものは何でも使用できますが、ヘイキューブや米ぬかがよく用いられています。

【問合せ先】  
林野庁経営企画課  
住所：東京都千代田区霞が関1-2-1  
電話：03-6744-2322

▲ YouTubeでも解説しています

